

市の公園について

問 緑海保育所跡地の活用について伺います。市の公園の数からすると、緑海地区などが少ないですが、平成25年3月31日に閉鎖された、緑海保育所の跡地などを公園として利用することは可能ですか。

答 総務部長 緑海保育所の跡地は、閉園後、一部は津波避難道路の道路用地及び津波避難道路整備にご協力いただいた地権者の方々への代替地として、売買、土地の交換等を行っています。残りの1772㎡については、津波避難道路整備に伴う資材置き場用地として活用し、その利用が昨年3月をもって完了したため、現在は財政課において管理しています。

跡地の利用方法については、地元地区等の要望があれば、使用貸借契約を締結して、貸し出すことも可能です。



さいとうまさひで
市政会 齋藤昌秀 議員



緑海保育所跡地

観光行政について

問 ブルーフラッグ認証が取得できたことは大変喜ばしいことです。これは、市長をはじめ、多くの職員、関係者の方々の努力の結晶です。県で第1号取得ということは、本市しか名乗れないことで、大きな地域PRとなり、観光客の増加が見込まれると思いが、どのような受け入れ態勢を整えていますか。

答 経済環境部長 まず、本須賀海岸へ誘導できるように、国道、県道等の電柱等を利用して、30カ所に看板の設置を予定しています。また、先般、県の土木事務所へ依頼し、県道成東鳴浜線の除草が実施される予定です。本須賀海水浴場に、海水浴場開設期間中に掲げることができるイヤーフラ

ッグ等を、今、話題になっているインスタ映えするように設置を進めて、市のPRにつながるようにしていきたいと考えています。



ブルーフラッグ認証取得記念イベントの様子

防災について

問 津波の際の避難場所である築山について、具体的な整備スケジュール及び用地買収は全て完了しているという認識でよいか伺います。

答 総務部長 今後のスケジュールについては、現在、工事発注に向けた実施設計業務を委託しています。委託業者からの提案を受けて、経済性、工法及び工事期間の検討を行い、令和2年度末の工事完成を目指して、本体工事の発注を行うこととしています。また、用地買収については、昨年12月に全て完了しています。

情報化について

問 2020年度から、インター

ネット環境が4Gから5Gへと、徐々に変わってまいります。通信速度は現行の4Gの100倍になり、通信速度の遅延に対しては、1mm秒程度の遅延になると言われています。自動運転が実用化レベルとなり、手術の遠隔指示などにも活用されています。

この様なネットワーク環境の変化に伴い、市では企業誘致や起業、企業支援について検討しているか伺います。

答 総務部長 通信環境の変革を見越した企業誘致について、具体的な情報も少なく、誘致活動には着手していないという状況です。

現在は、企業誘致全般では、県や金融機関等との情報交換を進めており、今後は、民間デイベロPPER（開発業者）等の活用を主体とした企業誘致を検討していきたいと考えています。

また、最近の情報ですが、アメリカのグーグル社が印西市に日本初のデータセンターを建設するとの発表がありました。県内では、地域活性化やIT技術の誘致が進むのではとの期待が高まっている状況ですので、そちらの動向を注視していきたいと考えています。

※5G：第5世代移動通信システム。4Gを発展させた「超高速」だけでなく、「多数接続」、「超低遅延」といった、新たな機能を持つ次世代の移動通信システム。